

【記入例】

提出日を記入してください。

令和7年度

受付印  
 令和 7年 1月 10日  
 (あて先) 伊万里市長

償却資産申告書(償却資産課税台帳) ※ 所 有 考 査 用

該当する項目を○で囲んでください。

第二十六号様式

所 有 者	1 住所 (フリガナ) 伊万里市立花町1355番地1 (又は納税通知書送達先)	〒848-0027 イ マ リ シ タ チ バ ナ ヲウ 伊万里市立花町1355番地1 電話 0955-23-2111	3 個人番号及び法人番号		8 短縮耐用年数の承認	有 <input checked="" type="radio"/> 無
	2 氏名 (フリガナ) カブシキカイシャ 株式会社 ○○○○○ (法人にあってはその名称及び代表者氏名) 代表取締役 ○○ ○○○ 屋号		4 事業種目 (資本金等の金額) 〇〇業 (1.000万円)	5 事業開始年月 昭和59年 10月	6 この申告に 応答する者の 係及び氏名 〇〇 〇〇 電話 0955-23-2149	9 増加償却の届出
			7 税理士等の氏名 〇〇 〇〇 電話 0955-23-1472		10 非課税該当資産	<input checked="" type="radio"/> 有 無
					11 課税標準の特例	<input checked="" type="radio"/> 有 無
					12 特別償却又は圧縮記帳	有 <input checked="" type="radio"/> 無
					13 税務会計上の償却方法	定率法 <input checked="" type="radio"/> 定額法
					14 青色申告	<input checked="" type="radio"/> 有 無

資産の種類	取 得 価 値 額				15 市(区)町村内 における事業所 等資産の所在地
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計 ((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)	
1 構築物					① ② ③ 16 借用資産 貸主の名称等 17 事業所用家屋の所有区分 <input checked="" type="radio"/> 自己所有 ・ 借家 18 備考(添付書類等)該当する項目に○をつけてください。 1. 資産の増減あり 2. 資産の増減なし 3. 該当資産なし 4. 廃止・解散・転出等 ( 年 月 日) 6. 名称変更あり 旧名称: ※先端設備等導入計画に基づく特別対象資産に係る課税標準の特例あり。 ※受付印を押した申告書(控)を同封の封筒で返信ください。
2 機械及び装置	R6年度の償却	R6年中に処分	R6年中に取得	(イ) - (ロ) + (ハ)	
3 船舶	資産申告書の	等で減少した	等で増加した	の合計額を、種	
4 航空機	(二)欄の値を、	資産の合計額	資産の合計額	類別に記入して	
5 車両及び運搬具	種類別に記入	を、種類別に	を、種類別に	下さい。	
6 工具、器具及び備品	して下さい。	記入して下さい。	記入して下さい。		
7 合計					
資産の種類	※ 年1月1日現在の帳簿価額 (ホ)	※ 評 価 額 (ヘ)	※ 決 定 価 格 (ト)	※ 課 税 標 準 額 (チ)	
1 構築物					記入不要です。 課税標準の特例の内容や要望を記入してください。
2 機械及び装置					
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品					
7 合計					

該当する項目を○で囲んでください。

該当する項目を○で囲んでください。

【記入例】

令和7年度		種類別明細書(全資産用)										所有者名				
所有者コード ※												株式会社 ○○○○				
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (円)	耐用年数	(口) 減価残存率	価格 (ハ)	課税標準の特例 ※		課税標準額	増加事由 ① 2 ③・4	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	1	記	駐車場コンクリート舗装	1	5	6	1	2,000,000	10			記		○		
02	2	入	太陽光発電設備	1	5	6	2	14,000,000	17			入		① 2 ③・4		
03	2	不	エアコンフレッサー	1	5	6	2	230,000	7			不		① 2 ③・4		
04	6	要	テレビ	1	5	6	3	250,000	5			要		① 2 ③・4		
05	6	で	パソコン	1	5	6	9	350,000	6			で		① 2 ③・4		
06	6	す。	応答セット	1	5	5	12	850,000	8			す。		① 2 ③・4	R6申告漏れ	
07														① 2 ③・4		

第二十六号様式別表一

① 資産の種類

1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

② 資産の名称

漢字、かな、カタカナ、アルファベット、数字で記入してください。

③ 数量

該当数量を記入してください。

④ 取得年月

該当資産の取得年月を記入してください。  
(昭和の年号⇒3、平成の年号⇒4、令和の年号⇒5)

⑤ 取得価額

該当資産の取得価額を記入してください。  
(※圧縮記帳をしている場合は圧縮前の価額を記入してください。)

⑥ 耐用年数

法定耐用年数を記入してください。

⑦ 増加事由

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 移動による受け入れ
- 4 その他

} いずれかに○をつけてください。

⑧ 摘要

過年度の申告漏れや、非課税、特例の適用などの特記事項を記入してください。

# 【記入例】

令和7年度		所有者コード		種類別明細書(増加資産)										所有者名		枚のうち	
		※		※増加資産のみ記入して下さい。										株式会社 ○○○○○		1枚目	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	(ロ)減価残存率	(ハ)価格	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月					※	コード				
01	1	記	外構工事	1	5	6	2	15,000,000	10			記		○			
02	2	入	太陽光発電設備	1	5	6	2	3,000,000	17			入		○			
03	2	不	レーザー加工機	1	5	6	8	8,000,000	10			不		○	先端設備の特例適用あり		
04	6	要	ルームエアコン	10	5	6	10	2,000,000	6			要		○			
05	6	で	応接セット	1	5	5	12	850,000	8			で		○	R6申告漏れ		
06		ず。										ず。		○			
07														○			

第二十六号様式別表一

## ① 資産の種類

1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

## ② 資産の名称

漢字、かな、カタカナ、アルファベット、数字で記入してください。

## ③ 数量

該当数量を記入してください。

## ④ 取得年月

該当資産の取得年月を記入してください。

(昭和の年号⇒3、平成の年号⇒4、令和の年号⇒5)

## ⑤ 取得価額

該当資産の取得価額を記入してください。

(※圧縮記帳をしている場合は圧縮前の価額を記入してください。)

## ⑥ 耐用年数

法定耐用年数を記入してください。

## ⑦ 増加事由

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 移動による受け入れ
- 4 その他

} いずれかに○をつけてください。

## ⑧ 摘要

過年度の申告漏れや、非課税、特例の適用などの特記事項を記入してください。

【記入例】

令和7年度		種類別明細書(減少資産)										所有者名					
所有者コード ※		※減少資産のみ記入して下さい。										株式会社 ○○○○					
行 番 号	資 産 の 種 類	抹 消 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 額  円	耐 用 年 数	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分				摘 要		
					年 号	年	月				1 全 部	2 減 失	3 移 動	4 其 他		1 枚 の う ち	
																1 枚	目
01	6	記入不要です。	応接セット	1	3	60	3	750,000	8		1・2・3・4	1・2	R6.10	除却			
02	6	記入不要です。	パソコン	1	4	17	5	350,000	6	記入不要です。	1・2・3・4	1・2	R6.11	除却			
03											1・2・3・4	1・2					
04											1・2・3・4	1・2					
05											1・2・3・4	1・2					
06											1・2・3・4	1・2					
07											1・2・3・4	1・2					

第二十六号様式別表二

① 資産の種類

1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

② 資産の名称

漢字、かな、カタカナ、アルファベット、数字で記入してください。

③ 数量

該当数量を記入してください。

④ 取得年月

該当資産の取得年月を記入してください。

(昭和の年号⇒3、平成の年号⇒4、令和の年号⇒5)

⑤ 取得価額

該当資産の取得価額を記入してください。

(※圧縮記帳をしている場合は圧縮前の価額を記入してください。)

⑥ 耐用年数

法定耐用年数を記入してください。

⑦ 減少事由

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 移動による受け入れ
- 4 その他

} いずれかに○をつけてください。

⑧ 区分

該当項目に○をつけてください。

⑨ 摘要

過年度の申告漏れや、非課税、特例の適用などの特記事項を記入してください。